

園長だより

No. 12

「学びの姿」

園長 小林 淳一

幼稚園の学びの目標は、幼稚園修了までに育つことが期待される生きる力の基礎となる心情、意欲、態度を育てることです。この目標を達成するために指導する項目が、文科省から示されています。具体的には、五つの観点があります。①幼児の発達の側面から、心身の健康に関する領域「健康」、②人とのかかわりに関する領域「人間関係」、③身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」、④言葉の獲得に関する領域「言葉」及び感性と表現に関する領域「表現」。

幼稚園では、日々の教育について、子どもの成長の姿を通して、これらの指導項目を確認しながら進んでいます。具体的に言えば、下の文は、9月のクラス通信に載っていたものですが、そこで、赤で示したところは、五つの観点から見て育ちが達成されつつあることを表しています。特に②人間関係③言葉の獲得に関連します。

・年少組

長い夏休みが終わり、いよいよ2学期が始まった。友だちを見つけると「○○ちゃん」と話しかけていた。久しぶりの登園だったが、自分で帰り仕度をし、ピアノの前で担任の指示を待つ姿に成長を感じた。

・年中組

夏休みの思い出を発表した。「発表する」となると、何も言えなくなってしまう子や、前の友だちと同じことをいってしまったりすることが多かった。今日は、自分の言葉で「僕は…、私は…」と発表することができた。聞いているときも静かにしていて、発表が終わると「私と同じだ」「すごいね」とつぶやいている子もいた。

・年長組

夏休み3大ニュースを発表した。○になって座り、一人ずつ立って発表したところ「もうすぐ自分の番だ。」友だちの話を聞いて「そこ行ってみたかったの」「僕もプールに行ったよ」「どこのプール」と質問する子もいて盛り上がった。「手のひらを太陽に」の歌詞の意味をみんなで確認した。「すかす」ってどういうことだろう？「ちしおってなんだろう？」聞いて見ると難しく答えられる子はいなかったが、説明すると「さっきケガした時の血の色、赤かったもんね」と自分の出来事と照らし合わせていた。